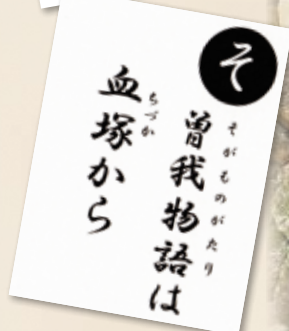


市議会だより

表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

「伊東かるた」とめぐる

“伊東の魅力”再発見



※伊東の自然・歴史・文化を題材にした「伊東かるた（第二版）」（伊東かるたの会制作）の中から「伊東の魅力再発見」をテーマに、編集委員が選んだお気に入りの札を写真とともにご紹介します。

河津三郎祐泰の血塚

（市指定史跡第二号）

歌舞伎で有名な「曾我物語」は伊東の血塚での事件に端を発した物語です。
「伊東かるた解説書より」

主な内容

- 6月定例会の概要【P.2】
- 一般質問（15議員が登壇）【P.4】
- 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会【P.10】
- 常任委員会だより【P.11】



令和3年6月定例会

21件の議案等を審議、決定

6月定例会を6月15日から6月30日までの16日間の会期で開会しました

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市認第1号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正について、令和3年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第2号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正について、令和3年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第3号	伊東市国民健康保険税条例及び伊東市介護保険条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に対する、国民健康保険税及び介護保険料の減免について、国の財政支援期間に合わせた対象期間の延長や、令和3年度分の介護保険料の減免額を、税制改正を反映させた後の合計所得額で算定することについて、令和3年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第4号	令和3年度伊東市一般会計補正予算（第1号）専決処分の報告承認について	国の低所得子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業に係る補正予算について、令和3年4月12日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市報第1号	市の義務に属する損害賠償の額の決定に係る専決処分の報告について	令和2年11月11日に城平住宅A棟の給水管の老朽化に起因して発生した漏水事故により、住宅入所者の家財が損傷したことに基づく損害賠償の額の決定で、令和3年4月28日に専決処分を行ったことの報告	市長	質疑のみで採決なし
市報第2号	令和2年度伊東市一般会計予算繰越明許費繰越し報告について	令和3年3月定例会において議決された繰越明許費のうち、庁舎維持管理事業など、25事業、7億7,598万5,000円を令和2年度から令和3年度に繰り越したことの報告	市長	質疑のみで採決なし
市報第3号	令和2年度伊東市一般会計予算事故繰越し報告について	水産業用施設災害復旧事業における、八幡野漁港の漁港施設の災害復旧工事の事故繰越2件であり、両工事とも起重機船での作業が必要であったが、天候不順等により不測の日数を要するなど、避けがたい事故のため工事の進捗に遅れが生じ、年度内に作業が完了できなかったことから、451万9,000円、予備費充当での予算計上が333万5,000円を令和3年度に繰り越したことの報告	市長	質疑のみで採決なし
市報第4号	令和2年度伊東市下水道事業会計予算繰越し報告について	地方公営企業法の規定による建設改良費の繰り越しで、川奈処理分区マンホールポンプ場設置など、4件の工事と2件の業務委託、1億3,387万5,000円を令和2年度から令和3年度に繰り越したことの報告	市長	質疑のみで採決なし
市議第1号	伊東市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、個人市民税については均等割及び所得割の非課税限度額における国外居住親族の取扱いの見直し、特定公益増進法人等に対する寄附金制度における寄附金の範囲について国税の改正に合わせて規定する等、固定資産税については課税標準の特例割合にわがまち特例を導入し、法で定める参酌基準を用いて条例で定める規定の整備等の条例改正	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第2号	伊東市手数料徴収条例の一部を改正する条例	都市の低炭素化の促進に関する法律、及び建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に基づく認定制度において、静岡県審査手数料の改定に伴い、対象となる手数料について改定を行うとともに、法改正に伴う新たな判定事務に係る手数料を定める条例改正	市長	全会一致で可決
市議第3号	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行により、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等が改正されたことに伴い、関係条例の規定の整備を行う必要が生じたための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第4号	伊東市新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対する傷病手当金の支給に関する条例の一部を改正する条例	新型コロナウイルス感染症に感染した（感染が疑われる場合を含む。）国民健康保険加入の被用者に対して支給する傷病手当金について、国の財政支援期間に合わせて適用期間を延長するもの	市長	全会一致で可決
市議第5号	伊東市学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例	単独調理場として運営している富戸小学校について、令和3年度2学期から、伊東市学校給食センターの受配校に加えるための改正を行うもの	市長	全会一致で可決
市議第6号	市民運動場人工芝生化工事請負契約の締結について	契約金額：6億8,750万円 契約の相手方：斉藤・三和特定建設工事共同企業体	市長	賛成多数で可決
市議第7号	令和3年度伊東市一般会計補正予算（第2号）	東京オリンピック・パラリンピック関係事業における、ライブサイト会場運営等経費、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、子育て世帯生活支援特別給付金事業費やシティプロモーション推進事業における、ワーケーション推進事業委託経費、地域公共交通活性化事業における、交通系ICカードシステム導入経費を追加し、8,318万4,000円の増額	市長	全会一致で可決
市議第8号	伊東市手数料徴収条例の一部を改正する条例	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の公布に伴い、地方公共団体情報システム機構が個人番号カードの再発行手数料を徴収することとなったための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第9号	伊東市功労者表彰について	高橋保文氏（玖須美元和田）	市長	全会一致で可決
市諮第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	佃正幸氏（宇佐美）再任	市長	全会一致で推薦に同意
発議第1号  解説	伊東市議会会議規則の一部を改正する規則	多様な人材の議会への参画の促進及び市議会に対する請願に係る署名押印の見直しに関する一部改正	議員9名*	全会一致で可決
発議第2号	伊東市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部を改正する条例	多様な人材の議会への参画の促進に向け改正される伊東市議会会議規則との整合性を図るため、産前産後の欠席期間を議員報酬等の特例に関する条例の適用から除外する改正	議員9名*	全会一致で可決
発選第1号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	有効投票20票のうち、竹部隆氏0票、馬場衛氏0票、和久田哲夫氏17票、三好陽子氏3票	—	—

※6月定例会中における各会派代表者及び会派に所属していない議員全員

解説
発議第一号について

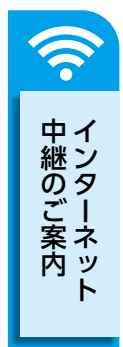
女性をはじめ多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備の一環として、本会議等への欠席事由として疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助等を明文化するともに、出産に伴う欠席期間の範囲を定めました。

また、市議会に対する請願に関し、提出時に押印を省略することが可能となるよう改めました。

伊東市議会では、本会議の録画映像をインターネットで配信しております。

本紙面に掲載しております、六月定例会における一般質問の様子も視聴いただけますので、ぜひご覧ください。

※この録画映像は、伊東市議会の公式記録ではありません。各会議の公式な記録は、後日調製される会議録をご覧ください。

一 般 質 問

15 議員が登壇し、市政全般について質問しました

(登壇順に掲載しています)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、演壇にはアクリル板を設置してあります。



さとうしゅう
佐藤 周 議員
(正風クラブ)

防犯カメラ設置に関し、録画データ取扱いに関するガイドラインの作成について伺う

防犯カメラの設置によってもたらされる効果は、犯罪抑止力や、起きてしまった犯罪の解決につながる証拠の記録をしておくことが出来ることとされている。一方で被写体となりうる個人のプライバシー、個人情報の取扱いについては、慎重さが求められる。

防犯カメラは、コンビニ店頭などにも設置されているため、過剰に意識する必要はないと思うが、市の助成による設置に当たっては一定のガイドラインを定め、それに基づいた管理運営が好ましいと考えることから、録画データの取扱いに関する本市独自のガイドライン

を作成してはいいかがか。

市長

今後、本市独自のガイドラインが必要となった場合は、作成していく

防犯カメラの設置に関しては、警察の捜査への協力や、犯罪抑止の効果などが期待される一方、不特定多数の人が被写体となることから、個人のプライバシーを侵害することがないよう十分配慮する必要がある。

県では、犯罪防止効果とプライバシー保護の調和を図ることを目的に「防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」を作成し、本市においても、本ガイドラインに基づいた設置及び運用を推奨している。

現時点においては、県作成のガイドラインに沿って所要の手續及び適正な運用を検討しているが、今後、本市独自のガイドラインが必要となった場合は、作成を考えていく。

『その他の質問』 一〇項目



しのはらみねこ
篠原 峰子 議員
(公明党)

奨学金返済を支援する「肩代わり」奨学金制度の導入について考えを伺う

日本学生支援機構の奨学金の返済に関して、国や自治体が貸与型奨学金の返済を「肩代わり」する支援制度が全国で広がっている。

同支援機構の発表によると、返済が必要な貸与型奨学金の利用者は一二九万人で、学生の二七人に一人が利用している計算となる。

他の市町では、地域内の企業へ貸与型奨学金の利用者が就職する場合等に、その者が貸与を受けた奨学金の返還を「肩代わり」する返還支援制度が実施されているが、本市においては未実施である。

保護者からは、本制度の導入を希望する声も上がっており、また、人口減少克

服・地方創生の観点からも、住民登録等の条件を満たした対象者の奨学金返済を支援する「肩代わり」奨学金制度を導入すべきであると考えますが、いかがか。

市長

県や近隣市町の動向を踏まえ、奨学金返還支援制度の導入について研究していく

日本学生支援機構などの奨学金に対する返還支援については、若年層の移住促進、地元企業の振興等、多くの有益な効果があると認識していることから、県や近隣自治体の動向とともに、本市の学生のニーズを踏まえる中で、「肩代わり」奨学金制度の導入について研究していきたいと考えている。

一方、本市では育英奨学金制度において、Uターンによる返還金半額免除を実施しており、本制度により、奨学金返還に関する一定程度の支援は実現できているものと考えている。

『その他の質問』 九項目



すぎもと かずや
杉本憲也議員
(清和会)

各小・中学校の教職員の充足状況とともに、教職員の労働状況について伺う

まちづくりは人づくりであり、人づくりには、教育が重要な役割を担う。

持続可能な伊東市の「まちづくり」を考えたとき、将来の伊東市を担う子供たちが、多様性を尊重した中で、安心安全に学ぶことができる環境を作ることが、本市にとって、重要な取組である。

子供たちにとって、重要な学びの場の一つである学校において、学校運営サイドの教員等が、子供たちに寄り添えるための、環境整備が必要不可欠であると考えることから、子供たちに寄り添った学校運営に関し、人材の適正配置の観点から、校長、教頭を除く、各小・

中学校の教職員数及びその充足状況を伺うとともに、教職員の労働状況について伺う。

教育長

義務標準法による学級数に応じた教職員を配当している

小・中学校における教職員数は、義務標準法による学級数に応じて配当数が定められており、これに、通級指導教室を担当する教員や生徒指導を重点的に指導する教員などが追加配当され、本市における校長・教頭を除く全教職員数は二四一人である。

労働状況については、児童生徒数の減少により、市内小・中学校の小規模化が進み、学級数に応じた教員の配当数は減っているものの、学校運営における業務量が減ることはないことから、個々の教員の負担は増加していると考ええる。

『その他の質問』 四項目



なか だよしまさ
仲田佳正議員
(正風クラブ)

小学校の統合に関し、児童の安全確保の観点から、スクールバスの導入についての本市の考えを伺う

令和五年度から実施される東小、西小及び旭小学校の統合に関し、保護者や地域の皆様から登下校に対して不安や心配の声がある。

文部科学省が定めた新たな学習指導要領の施行を受け、従来の知識の習得からグループディスカッションやディベート等を通じた変化に向き合う力を身に付けていく方向へと向かう中、クラス替え可能な学級数での学校運営を目指す統合には一定の理解を示すが、統合後の登下校時における児童の安全確保が重要であると考えするため、遠方より通学する児童のためのスクールバスの導入について、本

市の考えを伺う。

教育長

児童が安全に安心して通学できるようスクールバス等の専用バスの導入も視野に入れて検討する

東小、西小及び旭小学校の三校統合については、統合先が現在の東小学校となることから、西小及び旭小学校から通学する大多数の児童は、通学範囲が広がり、路線バスを利用した場合、地域によっては乗換えが必要となり、児童の安全面の確保や通学時間が延びるなど様々な問題が生じることから、児童が安全に安心して通学できるようスクールバス等の専用バスの導入も視野に入れ、三校統合地域協議会において、協議を進めていく。

また、導入方法については、バス会社への委託やバス購入による運行委託等財政面も考慮しつつ、綿密な検討を行う。

『その他の質問』 四項目



すぎもと かずひこ
杉本一彦議員
(自民・伊東新時代。)

新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況及び今後の展望について伺う

ワクチン接種の予約受付については、全国的に混乱が起きているという報道が流れている。

本市においても、五月一〇日に行った高齢者の集団接種予約の受付に混乱があったが、今後もワクチン接種は継続されるため、この経験を生かしてワクチン接種事業を円滑に進めていきたい。

そこで、現在の市内における、新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況及び今後の展望について伺う。

市長

より効率的な接種方法を医師会等と協議している

ワクチン接種の進捗状況

については、五月二二日をもって、医療従事者に対するワクチン接種が完了し、五月二六日からは高齢者に対する集団接種を開始した。六月一日からは、市内の二九医療機関のうち、接種体制が整った医療機関から、個別接種を開始したところである。

接種状況については、六月一三日現在、一回目の接種を受けた高齢者は、集団接種と個別接種を合わせ七四八八人となっている。

今後の展望は、高齢者の接種の進捗状況を確認しながら、高齢者以外への接種を順次進めていく予定であるが、国の指針として、対象年齢が拡大されるとともに、世代別に接種券を送付することを認めるなどの見解が示されるなど取扱いが頻繁に変更されているため、本市において、より効率的な接種方法について、現在、医師会等と協議を重ねている。

『その他の質問』 六項目



あおきよしひろ
青木敬博議員
(正風クラブ)

新型コロナウイルス感染症の収束後、市民向け、市内飲食店専用のクーポン券の発行について考えを伺う

現在の本市における旅行のスタイルは、いわゆる昔ながらの一泊二食付の旅行スタイルとなっているが、世界の旅行スタイルは泊食分離が基本で、既に首都圏ではそのようにシフトしており、近い未来において泊食分離の旅行スタイルが標準となる可能性がある。

数年先に泊食分離の旅行スタイルが定着したとき、旅行先での飲食店の有無が未来の観光に大きな意味を持つ可能性があり、数年先を見据えて行うのが政治ならば、コロナの収束が見えた時、大きな打撃を受けている飲食業への救済対応は非常に重要であると考えて

いる。

多くの飲食店があり魅力ある観光地として存続しているために、コロナの収束が見えた段階において、GOTOイートのような市民向けの、市内飲食店専用のクーポン券の発行について考えを伺う。

市長

業種を限定せず、全業種に効果が波及する支援が望ましいと考える

新型コロナウイルス感染症による影響は、本市においても、ほぼ全ての業種が、売上げの大幅な減少など大きな影響を受けており、この状況を踏まえ、全業種を対象とした、プレミアム付商品券事業を実施した。

今後も、業種を限定せず、全業種に効果が波及することとが望ましいと考えることから、商工会議所とも連携する中で、どのような支援が必要か、検討する。

『その他の質問』 五項目



しげおかひでこ
重岡秀子議員
(日本共産党)

医療従事者確保対策事業交付金を利用した伊東市民病院の医師採用の状況について伺う

医療従事者確保対策事業交付金は、主に医療機器などの市民病院の設備の充実のために使うことを目的としていた医療施設設置等基金を、医師や看護師などの人材確保のためにも活用できるように条例改正を行い、運用してきたものと認識している。

市民病院の充実が市民の命と直結したものであり、コロナ対策においても要となると考えることから、医療従事者確保対策事業交付金を利用した伊東市民病院の医師採用の状況について伺う。

市長

令和三年度は、本交付金を活用し、産婦人科医一人を採用した

伊東市民病院の医師確保については、医療従事者確保対策事業交付金のうち、医療従事者就業支援事業を活用して、確保が困難な診療科の常勤医師の採用を支援している。

同事業は、平成三〇年度から開始し、交付金を利用した医師確保の状況については、平成三〇年度が、眼科医一人、脳神経外科医一人、令和元年度が、消化器外科医一人、循環器内科医一人、令和二年度が、消化器外科医一人、令和三年度が、これまでに産婦人科医一人を採用した。

『その他の質問』 六項目

*「医療施設設置等基金」は、平成七年に、市民の医療需要に対応した地域医療を担う高度医療機能を備えた基幹施設（現在の伊東市民病院）の設置を目的として制定された。



ながさわまさし
長沢 正 議員
(公明党)

認知症高齢者のためのGPS機器の購入や貸与、また、損害賠償責任保険加入に対する補助について伺う

認知症高齢者が徘徊によって行方不明になり、そのまま事故に遭うケースが報道される中、一部の自治体では、高齢行方不明者の探索を容易にし、行方不明中の事故を未然に防ぐため、GPS機器などを使った行方不明者探索システムを導入している。本人の同意なくGPS機器を付けることは、人権侵害に当たるという声もあり課題も多くあると思われるが、認知症高齢者の安全確保及び負担軽減の面から、GPS機器の購入や貸与、また、損害賠償責任保険加入に対する補助について本市の考えを伺う。

市長

導入自治体における効果や課題を検証し、認知症高齢者のご家族のニーズ等も把握し、検討を進めていく

GPS機器の利用と、万一、認知症に起因する行為により、損害賠償を求められた際の補償を行う損害賠償責任保険の加入への補助については、導入自治体における効果や課題を検証するとともに、認知症高齢者のご家族のニーズ等も把握した上で、検討を進めていく。

一方、本市では、徘徊傾向を持つ認知症高齢者への対策として、希望される方に衣服や持ち物等に貼り付けることができ、スマートフォン等で読み取り可能なQRコード付見守りシールを配付し、保護された際、認知症高齢者の情報を速やかに確認し、家族への通知を行うことができるよう支援をしている。

『その他の質問』

五項目



しのみやかずひろ
四宮和彦議員
(清和会)

判決が確定した河川占用不許可処分取消請求控訴事件について、本件河川占用許可申請をどのように取り扱うのか伺う

本年四月二一日、東京高等裁判所において判決言渡しがあった「河川占用不許可処分取消請求控訴事件」について、判決主文は控訴棄却であり、本市が敗訴したことになるが、これに対し、市長は「市の主張が認められた」として、上告を行わなかった。

判決確定日は、判決の日から2週間の上告期限後とされており、不許可処分の取消効果が生じたとすればこの時点で、事業者の提出した河川占用許可申請は改めて、審査状態に戻ったことになる。

そのため、前回の許可申

請から不許可決定までの期間を考えると、何らかの処分が行われている時期であると考えられることから、本件河川占用許可申請をどのように取り扱うのか伺う。

市長

複数の弁護士から見解を求めるなど慎重に審査を行っている

本件河川占用許可申請の取扱いについては、控訴棄却の判決が確定したことから、先に本市が行った不許可処分が取消されたこととなる。そのため、改めて、申請者に対して許可・不許可について通知しなければならぬことから、慎重に審査を行っている。

審査に当たっては、控訴審判決における裁判所の判断内容及び先に不許可処分を行ってから現時点までの状況の変化を踏まえる中で、複数の弁護士からの見解を求めるなど慎重に審査を進めているところである。

『その他の質問』

九項目



さとうたつひこ
佐藤龍彦議員
(日本共産党)

生活支援体制整備事業の実施状況及び今後の課題について伺う

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりを推進するために、地域の企業や団体、住民など様々な立場の人たちが参画し、連携し合うことが重要であると考ええる。

そこで、介護保険における地域支援事業の一環として行われている、生活支援体制整備事業の実施状況及び今後の課題について伺う。

市長

きめ細かな生活支援ニーズの掘り起こしを行い、必要なサービスの提供を進めていく

生活支援体制整備事業は、住民同士の支え合いによる

地域づくりと、社会参画による自らの介護予防と生きがいづくりを目的として、ゴミ出しや草刈り等、高齢者の日常生活上の困り事に対応する生活支援サービスの担い手となる生活支援サポーターの養成を行っている。

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、養成講座の開催を中止したが、令和元年度には四五人のサポーターを養成し、令和二年度において生活支援サービスの利用に当たり、実利用者数四二人に対し、五八〇件のマッチングを行った。

今後は、生活支援サポーターと地域での潜在的な生活支援ニーズとの結び付けが課題となっていることから、関係機関や地域住民との協議を進め、きめ細かな生活支援ニーズの掘り起こしと、必要とされるサービスの提供を進めたいと考えている。

『その他の質問』 四項目



とりのやすこ
鳥居康子議員
(公明党)

幼稚園における給食の実施に当たり、その見通しを伺う

市長選挙時の公約の一つとして幼稚園給食に関し、「保護者からの要望にお応えし、安全・安心でおいしい給食を提供します。」と掲げられたことから、その実施に当たり、保護者からの要望の声をどのように受け止め、どのようにして安全・安心でおいしい給食を提供していくか、その見通しを伺う。

市長
安全・安心で、おいしい給食を提供するため、幼稚園にとって最適な方法を検討していきたい

幼稚園給食の実施に関しては、令和三年一月に市立幼稚園PTA連絡会から要

望書が提出されるとともに、同年三月に実施した市立幼稚園の保護者アンケートにおいて、七割を超える保護者がある実現を望んでいることなどが確認された。

子育て家庭の負担軽減を図りつつ、園児一人一人が給食を通じて、栄養バランスの取れた食事とそのマナーを身に付け、心身ともに健やかに育つことが出来る環境を構築していくため、幼稚園においても、安全・安心で、おいしい給食の実現を目指したいと考えている。

実施方法としては、市立幼稚園には給食を調理する施設がないことから、専門業者によるデリバリー方式や、近隣の保育園、小学校などの給食調理施設からの配送方式など、考えられる選択肢の中から費用対効果も考慮しつつ、本市の幼稚園にとって最適な方法を検討していきたい。

『その他の質問』 五項目



すずきあやこ
鈴木絢子議員
(会派に所属していない)

小・中学校におけるトイレの洋式化について現在の設置状況及び今後の取組について伺う

小学生の保護者からは、児童らが、休み時間に一つしかない洋式トイレが混み合いトイレが使用できなかったり、学校でトイレを使用せず我慢して帰って来たり、トイレが嫌で学校に行きたくない等の様々な問題が起きていることから、トイレの洋式化に向けた要望の声が上がっている。

学校生活において日常と違う環境に不安や戸惑い、不満を感じることは当然のことではあるが、現在のトイレの出荷量の九九％は洋式トイレとなっており、洋式トイレが一般的となっており、中学校のトイレ洋式化につ

いて現在の設置状況及び今後の取組について伺う。

市長
児童生徒が安心して過ごせるようトイレの洋式化を計画的に進めていく

小・中学校のトイレについては、臭い、汚い、暗いという負のイメージが強いため、その対策として、平成一四年度から、トイレの洋式化を含む改修工事を行ってきた。

国の統計調査における各家庭の洋式トイレの保有率は、九九・四％との結果が示されている中、本市における小・中学校全体のトイレの洋式化率は、平均で四八％となっている。

今後の取組としては、改修を行っていない学校に対する整備を進めていくとともに、既に改修済ではあるが、洋式化率が低い学校の整備もあわせ、トイレの洋式化を計画的に進めていく。

『その他の質問』 四項目



た く ま さ
田久保真紀議員
(会派に所属していない)

(仮称) 伊豆高原メガソーラーパーク発電所建設事業について伺う

令和三年四月二一日に判決の出た河川占用許可申請について、市の今後の対応を伺う。

また、本事業の建設予定地について、現場管理者不在のまま放置されているような状況が長く続いているが、現状について伺う。

市長

河川占用については慎重な審査を行っており、建設予定地については現地調査を行った上で、事業者に対し指導を行った

河川占用許可申請の対応については、判決が確定したことから、改めて、申請者に対し、許可・不許可について通知しなければなら

ない。控訴審判決における裁判所の判断内容や先に不許可処分を行ってから現時点までの状況の変化等を踏まえる中で、複数の弁護士と協議し、慎重に審査を行っているところである。

建設予定地の現状については、本年四月上旬に、市民団体等から現地調査の要請を受け、同月二六日に、静岡県とともに実施した。

現地調査では、指摘のあった現場入口付近や岡沢地点でのブルーシートの破損については改善されていることを確認した。碎石の流出が確認された地点については、事業者に対し、碎石の撤去や土砂流出防止等の対策を講じるよう指導した。事業区域内の窪地に設置されている大型土のうについては、土のう袋から土砂がこぼれ落ちている状況を確認したが、当該場所周辺の地形においては、土砂が事業区域外へ流出することはないものと判断した。

『その他の質問』 二項目



あ さ だ よ し ひ ろ
浅田良弘議員
(会派に所属していない)

県民限定の観光施策を実施する考えについて伺う

新型コロナウイルス感染症により、本市の基幹産業である観光業への影響は深刻な状況であるが、市内経済の回復が見込まれる夏季シーズンを目前に、コロナ禍でも対応可能な新たな人流を生み出す旅行形態の必要性を感じている。

そこで、県境をまたぐ旅行等に制限がある中、マイクローツーリズムが注目されていることを踏まえ、県民限定の観光施策を実施する考えについて伺う。

市長

適切なタイミングで本市独自の宿泊促進施策を実施することを検討する

自宅から一時間から二時間以内の近場で旅行を楽しむ

むマイクローツーリズムが注目を集めていたことから、昨年六月に「GO! ITO 静岡県民宿泊キャンペーン」、今年三月には「サクラサクGO! ITO キャンペーン」を実施し、県民限定の宿泊促進を図ってきた。

両キャンペーンとも数日で予約枠が埋まったことから、コロナ禍においても、近場で安全安心に旅行を楽しむというニーズが多いものと分析し、しばらくは、このような状況が続くものと想定している。

また、これまで首都圏が中心であった観光プロモーションについても、県内のお客様にリピーターとなっただけのような取り組みでいくとともに、国や県が行う観光施策の実施状況を注視する中で、今後、適切なタイミングで実施を予定している本市独自の宿泊促進施策について、対象者を県内限定とすること等も含め検討する。

『その他の質問』 一一項目



い し じ ま し げ お
石島茂雄議員
(会派に所属していない)

小室山山頂や一碧湖湖水における花火大会の開催を検討してはいかがか

昨年、コロナ禍における花火大会は中止の方向で検討がなされていたが、七月初旬、市長から議員に対し、市民の方から花火大会に係る寄附をいただき、その厚意を受け花火大会を開催する方向であるといった報告、そして、開催方法等についてアイデアを伺いたいといった要望を受けた。

その際、私は、大室山山頂からの花火を提案し、それに加え、一碧湖や、小室山、馬場の平山頂での花火大会も実現して欲しいと提言した。

改めて伺うが、昨年度開催された大室山山頂花火大会が好評であったことを受け、小室山山頂や一碧湖湖

水における花火大会の開催を検討してはいるかがか。

市長
周辺への音や環境への配慮、安全対策等の慎重な検討が必要と考える

小室山山頂や一碧湖での花火大会の開催については、過去に、小室山公園内でテレビ番組の撮影に関連して花火を打ち上げたことがあり、一碧湖においても、数十年前には花火を打ち上げていた経過があると聞き及んでいる。

しかしながら、花火大会の開催には、音の問題や環境への配慮が必要であり、周辺住民の理解を得ることが大前提であるとともに、その他にも観覧場所や駐車場の確保などの観覧者対策に加え、保安距離を踏まえた打ち上げ場所の選定や火災防止などの安全対策を図ることが重要であることから、慎重に検討する必要があると考えている。

『その他の質問』 五項目

全員協議会の開催

六月三〇日、全員協議会を開催し、伊豆メガソーラーパーク合同会社宛ての伊東市長確約書について、当局へ質疑を行いました。



全員協議会は、市議会インターネット中継放送からご覧いただけます



全国市議会議長会 議員表彰

全国市議会議長会より、永年勤続の表彰を受けた議員に対して、六月定例会においてその伝達を行いました。

正副議長在職四年以上
勤続十五年以上

宮崎雅薫 議員

閉会中の議会活動

令和3年3月定例会閉会から
令和3年6月定例会開会まで

4月 7日 常任福祉文教委員会協議会	5月13日 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
4月20日 議会報編集委員会	
4月27日 常任総務委員会協議会	5月28日 常任総務委員会協議会
4月28日 常任観光建設委員会協議会	6月 9日 議会運営委員会
5月12日 議会運営委員会	



メールマガジン
配信のお知らせ

いとう市議会だより発刊のお知らせを、伊東市メールマガジン（メルマガという）で配信しています。ぜひご登録ください。



新型コロナウイルス 感染症対策特別委員会

中間報告

1 令和三年五月一三日 委員会開催

令和三年二月一日に、議会から当局に対して提出した二回目の政策提言に対する対応状況に関し、報告を求めました。

当局に対する政策提言事項については、市民への情報・周知・啓発、市内企業等の支援、観光振興・イベント開催、医療・健康、教育現場での対策、市職員の感染症対策、国・県への要望の七分野二九項目となっており、提言項目の順に報告を受けた後、報告内容についての確認等の質疑応答を行いました。

接種の予約方法や接種体制についての確認、観光振興・イベント開催、教育現場での対策等の確認がされました。

あわせて、新型コロナウイルス感染症に対する議会の対応として、引き続きマニュアルを遵守していくことが確認されました。

本委員会の今後の開催については、特別委員会が設置されている状況を維持し、状況の変化や案件が生じた際はすぐに招集できる状態としておくこととしました。

2 令和三年六月一五日 中間報告

令和三年六月定例会初日において、本特別委員会の中間報告をし、異議なく了承されました。

※本特別委員会「提言書」等につきましては市議会ホームページをご覧ください。



常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

ホームページにおいて、各委員会要点記録を公開しております。

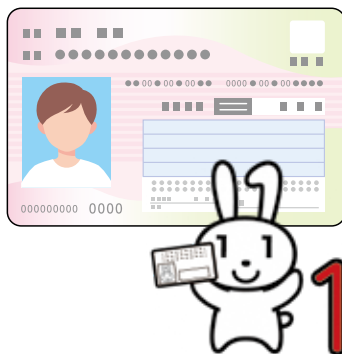


総務委員会

問 手数料徴収条例の一部を改正する条例に関して、窓口におけるマイナンバーカードの取扱いに変更はあるか。

答 マイナンバーカード再発行の際にご負担いただく手数料について、地方公共団体情報システム機構（※）からの委託を受けて本市が手数料を徴収するという点が変更となるが、窓口におけるお客様の手続及びご負担いただく手数料金額に変更はない。

※地方公共団体が共同運営する組織で、マイナンバー及び住民基本台帳ネットワーク等に関する事務を行っている。



利活用の範囲が広がっている
マイナンバーカード

観光建設委員会

問 ワーケーション推進事業委託料について、具体的な委託内容を伺う。

答 委託内容は大きく分けて3つある。

1つ目がワンストップ窓口業務で、事業計画の策定、ツアーの造成などを含む窓口業務を行い、2つ目がデジタルマーケティング事業で、首都圏のビジネスマンの家族や企業開発合宿をターゲットとしたPR動画を制作し、プロモーションを行い、3つ目が実施可能なワーケーションメニューや各宿泊施設の通信環境などの情報を取得できる特設サイトの制作を委託していく。



「労働」と「休暇」を組み合わせた
「ワーケーション」（※イメージ写真）

福祉文教委員会

問 富戸小学校が学校給食センターの受配校となることから、地産地消給食の生産者への対応及び今後の食育の取組を伺う。

答 生産者がこれまで富戸小学校に提供していた食材分については、学校給食センターや他の調理場等へ納入していただくことを考えている。

食育については、重要な事業であると認識しており、栄養士が学校を訪問する際に、生産者にも同行していただくなど、様々な形を考える中で、引き続き、取組を推進していきたい。



富戸小学校が新たに学校給食センターの
受配校となる

問 社会福祉課 障害福祉係
〇五五七―三二―一五三三

この「声のいう市議会だより」は、市議会ホームページにデータを掲載するほか、ご希望の方へ内容を収録したカセットテープを配付しています。

テープの配付は原則視覚障がいのある方が対象となります。配付をご希望の方は市役所社会福祉課障害福祉係までお問い合わせください。

市議会では、目の不自由な方に議会の情報をお届けするため、音訳サークル「ひなぎく」の皆さんに協力をいただき、市議会だより紙面の一部を音訳した「声のいう市議会だより」を作成しています。

収録の内容は、議員による一般質問が中心となりますが、皆さんからのご意見や感想をもとに、よりよいものを作成していきたいと思っています。



「声のいう
市議会だより」の
おしらせ

市議会内の会派構成

掲載は会派代表者を先頭に、以下議席順

R3.8.1現在

正風クラブ



さとう しゅう
佐藤 周



あおき よしひろ
青木 敬博



なかだ よしまさ
仲田 佳正



すずき あやこ
鈴木 絢子



みやざき まさしげ
宮崎 雅薫 (代表)

清和会



すぎもと かずや
杉本 憲也



しのみや かずひこ
四宮 和彦



いど きよし
井戸 清司 (代表)

公明党



しのはら みねこ
篠原 峰子



とりい やすこ
鳥居 康子



ながさわ まさし
長沢 正 (代表)

日本共産党



さとう たつひこ
佐藤 龍彦



しげおか ひでこ
重岡 秀子 (代表)

自民・伊東新時代。



なかじま ひろみち
中島 弘道



おおくわ かつひろ
大川 勝弘



すぎもと かずひこ
杉本 一彦 (代表)

会派に所属していない議員



いしじま しげお
石島 茂雄

無党派 颯



たくぼ まき
田久保 真紀



あさだ よしひろ
浅田 良弘 (代表)

議会内の異動

■七月一日

会派加入

鈴木 絢子 議員

(新) 正風クラブ

(旧) 会派に所属していない

■七月二六日

会派結成

無党派 颯

代表 浅田 良弘 議員

田久保真紀 議員

9月定例会の予定

8月31日(火)
開会

※日程等は、8月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。
詳細は市議会ホームページにてご確認ください。



市議3期 72歳
故 佐山 正議長

佐山正議長急逝

佐山正議長が七月一日に急逝されました。

佐山議長の多大なるご功績をしのび、心からご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

伊東市民憲章では、第一

条に「文化を高め、教養を

豊かにしましょう」と定め、

取組の一つに「郷土の芸術

や史跡、文化財を大切にす

る」ことが掲げられていま

す。文化財を守るには、伊

東市景観形成計画でも新た

に掲げられたように、文化

財そのものだけでなく、そ

の周辺環境も一体として整

備保全することが肝要です。

歴史や文化は、その土地

を形づくり、市民だけでな

く来訪者にも大きな魅力と

なる、重要な地域資源です。

この秋は世界でここにし

かない、国際観光温泉文化

都市伊東の歴史を、いま一

度感じてみませんか。(杉本)

議会編集委員会

委員長

佐藤 龍彦

副委員長

杉本 憲也

委員

佐藤 周

篠原 峰子

大川 勝弘

市議会に関するご意見
ご質問は議会事務局へ